

# 勝山におけるジオパーク学習の実践例2022： 今年ならではの取り組み

キーワード：勝山市の8月4日の大雨災害



11.4世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。  
11.11b 仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。



13.1 気候関連災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。



15.1 森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。

# 8月4日の豪雨とジオパーク学習

5年生and/or6年生を対象にして、それぞれの理科の単元に関連したフィールドワークで、滝波川沿いとその支流の豪雨の爪痕を利用した。実施したのは10月～11月。

## • 関連単元

- 5年生 「流れる水のはたらき」

例年も滝波川を利用していましたが川の状況が変化したため、活用場所を変更

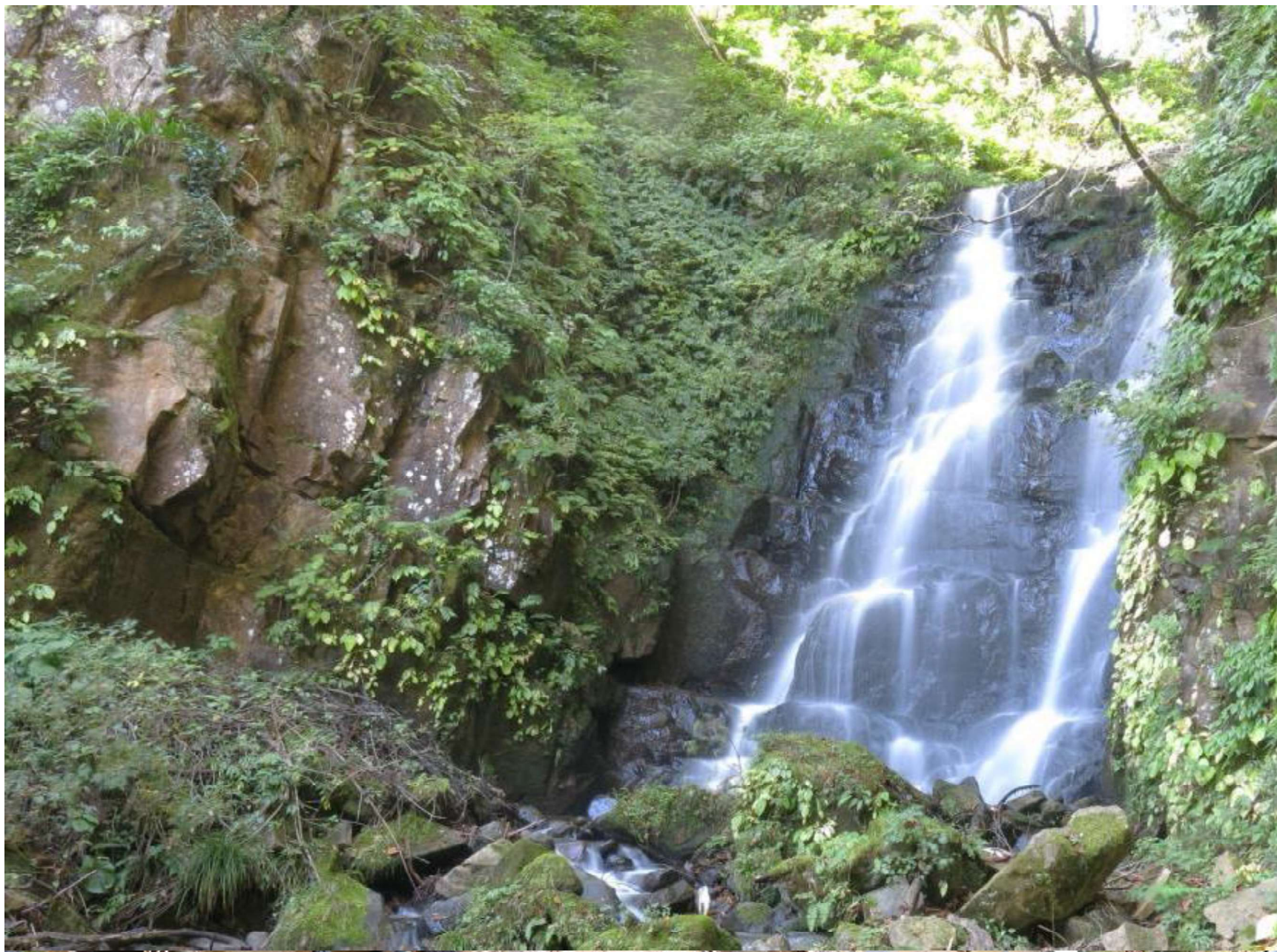
- 6年生 「大地のつくりと変化」

例年は恐竜化石発掘現場を訪れることが多かったが、災害の影響で訪れることができない状況

## • 活用サイト

- 不動滝
- 滝波川沿いの護岸破損か所×2

# 不動滝(災害前)



# 滝波川の護岸破損か所(その1)



# 滝波川の護岸破損か所(その2)



# 地域資源とそこからの学び

- 水のはたらきでできる地層と岩石
- 火山のはたらきでできる岩石
- 化石と勝山で見つかる恐竜化石
- 流れる水のはたらき
- 水辺を好む植物
- 季節による自然の変化
- 激しい水の流れて起こった変化
- 勝山の平野部の成り立ちとそこに暮らす人々の暮らし
- 人の暮らしの安全とときどき牙をむく自然の難しい関係
- その時自分は何をしていたか？つぎの災害発生時の対応について考えるきっかけに

# まとめ

- 護岸の破損や露頭の崩落によって、今まで見えなかった部分が生み出されること、新しい学びの場が生まれることもある
- 近年、勝山市でこの規模の大雨はなかったため、他人事になりがちだった豪雨災害を自分事と考え、防災意識を高めることにつなげられる
- 環境と治水について考える機会
- 地球・自然に対して「謙虚」に考え続けることの重要性を感じる機会

被災者や復旧工事への配慮(邪魔をしない)、安全性の確保は必須

災害が起こった時に、どんな場所を見せられるのか、その復旧作業がどのようなスケジュールで行われるのかを把握しておくことが大切

# **Thank you for your attention!**

**Please like us on  
facebook,  
Instagram &  
twitter!**

